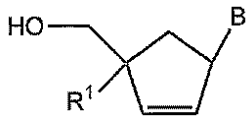
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公表番号】特表2007-515495(P2007-515495A)
【公表日】平成19年6月14日(2007.6.14)
【年通号数】公開・登録公報2007-022
【出願番号】特願2006-547446(P2006-547446)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｄ 473/16　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/522　(2006.01)
Ａ６１Ｋ 31/52　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 31/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ 43/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 473/18　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 473/16　ＣＳＰ
Ａ６１Ｋ 31/522
Ａ６１Ｋ 31/52
Ａ６１Ｐ 31/14
Ａ６１Ｐ 43/00　１０１
Ｃ０７Ｄ 473/18

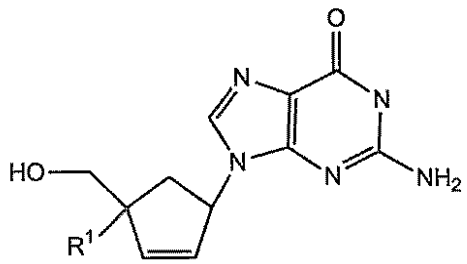
【手続補正書】
【提出日】平成19年12月3日(2007.12.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式Ｉ：
【化１】



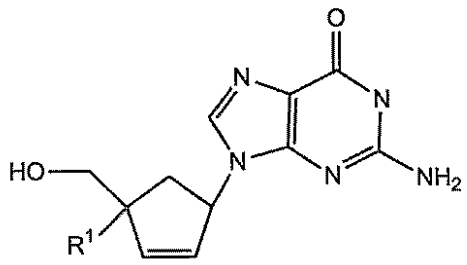
Ｉ

の化合物、またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物であって、ここで：
Ｂは、アデニン、グアニン、シトシン、ウラシル、チミン、７－デアザアデニン、７－デアザグアニン、７－デアザ－８－アザグアニン、７－デアザ－８－アザアデニン、イノシン、ネブラリン、ニトロピロール、ニトロインドール、２－アミノプリン、２－アミノ－６－クロロプリン、２，６－ジアミノプリン、ヒポキサンチン、プソイドウリジン、プソイドシトシン、プソイドイソシトシン、５－プロピニルシトシン、イソシトシン、イソグアニン、２－チオピリミジン、６－チオグアニン、４－チオチミン、４－チオウラシル、O^6－メチルグアニン、N^6－メチルアデニン、O^4－メチルチミン、５，６－ジヒドロチミン、５，６－ジヒドロウラシル、４－メチルインドール、トリアゾール、またはピラゾロ［３，４－ｄ］ピリミジンであり；そして、Ｂは、必要に応じて、１つ以上の、ア

ルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、（シクロアルキル）アルキル、ヒドロキシ、またはハロで置換され；そして
Ｒ^{1}は、アルキル、アルケニル、アルキニル、シアノ、アジド、またはフルオロメチルであり；
ただし、式Ｉの化合物は、式ＩＩ：
【化１－２】



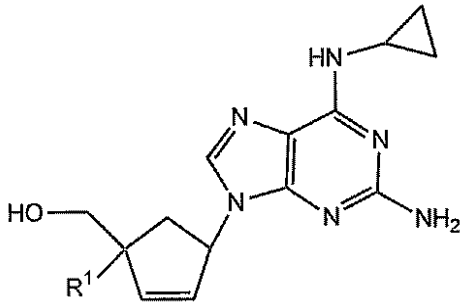
の化合物ではなく、ここで、Ｒ^{1}はアルキルである、
化合物。
【請求項２】
Ｂが、アデニン、グアニン、シトシン、ウラシル、またはチミンであり；ここで、Ｂが、必要に応じて、１つ以上の、アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、（シクロアルキル）アルキル、ヒドロキシ、またはハロで置換される、請求項１に記載の化合物。
【請求項３】
Ｂが、７－デアザアデニン、７－デアザグアニン、７－デアザ－８－アザグアニン、７－デアザ－８－アザアデニン、イノシン、ネブラリン、ニトロピロール、ニトロインドール、２－アミノプリン、２－アミノ－６－クロロプリン、２，６－ジアミノプリン、ヒポキサンチン、プソイドウリジン、プソイドシトシン、プソイドイソシトシン、５－プロピニルシトシン、イソシトシン、イソグアニン、７－デアザグアニン、２－チオピリミジン、６－チオグアニン、４－チオチミン、４－チオウラシル、Ｏ^{6}－メチルグアニン、Ｎ^{6}－メチルアデニン、Ｏ^{4}－メチルチミン、５，６－ジヒドロチミン、５，６－ジヒドロウラシル、４－メチルインドール、トリアゾール、またはピラゾロ［３，４－ｄ］ピリミジンであり；そして、Ｂが、必要に応じて１以上のアルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、（シクロアルキル）アルキル、ヒドロキシ、またはハロで置換される、請求項１に記載の化合物。
【請求項４】
Ｂが、アデニン、グアニン、シトシン、ウラシル、またはチミンである、請求項１に記載の化合物。
【請求項５】
式ＩＩ：
【化２】



ＩＩ

の化合物である、請求項１に記載の化合物であって、ここで、Ｒ^{1}が、アルケニル、アル

キニル、シアノ、アジドまたはフルオロメチルである、
化合物。
【請求項６】
式ＩＩＩ：
【化３】



III

の化合物である、請求項１に記載の化合物であって、ここで、Ｒ^{1}が、請求項１に規定される任意の意味を有する、化合物。
【請求項７】
Ｒ^{1}が、アルキルである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項８】
Ｒ^{1}が、メチルである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項９】
Ｒ^{1}が、フルオロメチルである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項１０】
Ｒ^{1}が、アルケニルである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項１１】
Ｒ^{1}が、ビニルである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項１２】
Ｒ^{1}が、アルキニルである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項１３】
Ｒ^{1}が、エチニルである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項１４】
Ｒ^{1}が、シアノである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項１５】
Ｒ^{1}が、アジドである、請求項１～請求項６のいずれか１項に記載の化合物。
【請求項１６】
請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、有効量の式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物、および薬学的に受容可能な賦形剤を含有する、薬学的組成物。
【請求項１７】
請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、有効量の式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物；薬学的に受容可能な賦形剤；および治療有効量の別の治療剤を含有する、薬学的組成物。
【請求項１８】
ＨＩＶインヒビター因子、抗感染性因子、および免疫調節因子から選択されるＡＩＤＳ処置因子をさらに含有する、請求項１６に記載の薬学的組成物。
【請求項１９】
ＨＩＶプロテアーゼインヒビターをさらに含有する、請求項１６に記載の薬学的組成物。
【請求項２０】
逆転写酵素インヒビターをさらに含有する、請求項１６に記載の薬学的組成物。

【請求項２１】
非ヌクレオシド逆転写酵素インヒビターをさらに含有する、請求項１６に記載の薬学的組成物。
【請求項２２】
ＨＩＶインテグラーゼインヒビターをさらに含有する、請求項１６に記載の薬学的組成物。
【請求項２３】
動物（例えば、哺乳動物）においてウイルス感染を阻害するための組成物であって、該組成物は、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、有効量の式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物を含有する、組成物。
【請求項２４】
動物においてウイルス感染の症状または影響を、処置または予防するための組成物であって、該組成物は、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、有効量の式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物を含有する、組成物。
【請求項２５】
動物においてＨＣＶ感染を阻害するための組成物であって、該組成物は、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、有効量の式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物を含有する、組成物。
【請求項２６】
感染した動物においてＨＣＶ感染の症状または影響を、処置または予防するための組成物であって、該組成物は、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、有効量の式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物を含有する、組成物。
【請求項２７】
ウイルス酵素を阻害するための組成物であって、該組成物は、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、有効量の式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物を含有し、ここで、該組成物は、ウイルス感染した細胞または組織を含む疑いのあるサンプルとの接触に適している、組成物。
【請求項２８】
動物においてＲＮＡ依存性ＲＮＡポリメラーゼを阻害するための組成物であって、該組成物は、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、有効量の式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物を含有する、組成物。
【請求項２９】
医療治療における使用のための、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物。
【請求項３０】
動物におけるウイルス感染を阻害するために有用な医薬を調製するための、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物の使用。
【請求項３１】
動物におけるウイルス感染の症状または影響を、処置または予防するために有用な医薬を調製するための、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物の使用。
【請求項３２】
動物におけるＨＣＶ感染を阻害するために有用な医薬を調製するための、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物の使用。
【請求項３３】
感染した動物におけるＨＣＶ感染の症状または影響を、処置または予防するために有用な医薬を調製するための、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物の使用。

【請求項３４】
動物におけるＲＮＡ依存性ＲＮＡポリメラーゼを阻害するために有用な医薬を調製するための、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物の使用。
【請求項３５】
薬学的組成物を作製するためのプロセスであって、該プロセスは、請求項１～請求項１５のいずれか１項に記載の、式Ｉの化合物またはその薬学的に受容可能な塩もしくはその溶媒和物、および薬学的に受容可能な賦形剤を合わせる工程を包含する、プロセス。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００３】
（発明の背景）
アバカビルと共に、カルボビルは、周知の抗ＨＩＶ炭素環式ヌクレオシドである。アバカビルは、現在までに開発された、最も強力なヌクレオシド逆転写酵素インヒビター（ＮＲＴＩ）である。１．４　ｌｏｇ１０　ＲＮＡコピー／ｍｌを超えるウイルス負荷における減少の平均が、短期課程のアバカビル単独療法の後に観察される。